

令和8年度事業計画

1. 会議の開催

- ① 理事会2回、評議員会2回以上開催する。

2. 機関誌の発行

- ① 「書学」(不定期)、「不二(一般・中高・上級・初級)」、「ぺんの力」計6誌を継続発行する。更に今後も伝統書道の普及を目指し、より一層の内容の充実を図る。
- ② ホームページに不二誌の内容を掲載し、購読申込の機会の充実を図る。
- ③ 毎年4月号の付録としていた書道手帳は、印刷費削減の為、引き続きホームページよりダウンロードできるようにし、手帳を利用したい会員がいつでも利用できるような利便性を図る。
- ④ 用紙代、人件費、印刷費、発送費などのコスト高に備え、極力経費削減に努め、DTP化の充実とプリントパックなどの活用を図る。

3. 月例競書審査会

- ① 会員から提出された清書により、月例審査会に於いて段級位の認定を行う。
- ② 審査及び事務処理体制の充実を図る。
- ③ 書道・硬筆ペン作品とも最優秀作品の一部を、本部1階ショーウィンドウに掲示し、会員の意欲向上を図る。

4. 昇格・昇段試験

- ① 第1回6月、第2回9月、第3回12月、第4回3月に実施する。
- ② 「一般版」、「ぺんの力」において会友・部門別会友試験を年1回実施する。なお、一般版部門については各段級位に正・準の2階級制度を実施し、「会友」資格への実力向上を図る。

5. 会員登録

- ① 公認段級位制、厳正な管理の一環として、引き続き一般版・ぺんの力・中高版・上級版・初級版においてバーコードによる段級管理を実施し、段級の厳格化および発表の正確性、月例審査の効率化を図る。

- ② インターネットによる段級位の発表を毎月実施し、国内・海外の会員等に対し、学習のサポート体制の強化を図る。
- ③ 会誌・書学院・通信教育・納経の会員データを統合した会員システムを運用し、会員に対するサービスの向上を図る。
- ④ 株式会社システナでの会員管理システム全面構築を進め、以下の業務改革を継続実施し、人件費削減と業務の効率化を図る。新システムは令和8年度秋より段階的に会員登録を開始、令和9年度4月より本格運用を開始する予定で開発を進める。
 - 1. 教室会員による不二誌部数および会費の取りまとめ制度を廃止、会員アプリなどを活用した個人での会員登録制度を構築し、会費ならびに昇段試験料は個人に請求する。会費は年会費制とし、年度末分（3月号）までを前払い、昇段試験料は出品点数分を請求、クレジットカードによる後払い制とする。
 - 2. 会報発送システムを全面的に見直し、郵便料金値上げによる影響の対策として、教室会員の割引制度を廃止し、会員には個別配送とする。
 - 3. 会員マイページで段級確認やお手本 PDF の閲覧ができるようにし、会員の利便性向上を図る。

6. 書学院

- ① 神田書学院は年3期制（4月・9月・2027年1月開講）とし、2年間で師範取得を目指す師範科と、より専門的に学ぶ特設科を開講。夏季と冬季には、短期講座を開催し、受講生の他、不二誌会員など広く受講を受け入れる。
- ② リニューアルしたホームページからの集客増を目指す。
- ③ SMS リンクによるクレジット決済機能を導入し、受講生の利便性を高めるとともに、窓口業務の効率化を図る。
- ④ 訪日インバウンド向けの書道体験講座を OTA 2 社に登録し、募集する。講座内では実技体験の他、漢字の起源や道具の説明を行い、書道文化の魅力を伝える。
- ⑤ YouTube チャンネルで、不二誌手本解説動画を定期的にアップロードし、受講生、不二誌会員の学習意欲向上を図るとともに、書道教室のない地域等における新規会員獲得、教室閉鎖などで学習の場を失った会員の継続学習に繋げる。
- ⑥ SNS を活用して書学院の広報の充実を図り、新入生増加を目指す。

7. 全国優秀教場長教室長表彰・優秀教室会員表彰の開催

- ① 不二誌を通して指導を行っている全国の教場長、教室長を対象に表彰並びに会議を実施する。

- ② 不二誌を通じて書道を学ぶ会員の中で、各教場長、教室長が推薦する者を優秀教室会員として表彰する。

8. 資格及び実力の認定

- ① 師範・司教・助教の資格認定、上級・中級・初級の実力認定、および公認段級制度による段級の認定を行う。

9. 全国書道検定試験およびペン硬筆検定試験の実施

- ① 第66回全国書道検定試験・第46回全国ペン硬筆検定試験の実施
5月23日（土）～6月8日（月）に行い、実地試験は5月28日（木）に神田書学院（東京都）に於いて実施する。司教以下の試験は自宅試験として実施する。
- ② 第99回級位認定書道検定試験・第89回級位認定ペン硬筆検定試験の実施
5月23日（土）～6月8日（月）に自宅試験として実施する。

10. 写経塔・筆塚供養祭の開催

- ① 写経塔・筆塚供養祭の開催。
供養祭を10月4日（日）に東洋文化不二研修所に於いて実施する。

11. 第48回全国公募千字文大会

- ① 会 期：8月28日（金）～8月30日（日） 表彰式：8月29日（土）
- ② 会 場：神田書学院
- ③ 優秀作品には文部科学大臣賞、静岡県知事賞他を贈る。
※学校法人扶桑学園 日本書道藝術専門学校と共催。
- ④ 不二各誌およびぺんの力の10月号にて、成績ならびに特選作品を掲載する。

12. 第17回「漢字造型」と「傳統の寫經」展

- ① 会 期：9月22日（火）～9月27日（日）
- ② 会 場：東京鳩居堂画廊

13. 第76回書道學會展

- ① 会 期：令和9年1月4日（月）～1月10日（日）
- ② 会 場：東京都美術館
- ③ 役員の優秀作品には内閣総理大臣賞他、公募の優秀作品には文部科学大臣賞他を贈る。

14. 第76回全日本学生書道展

- ① 会 期：令和9年1月4日（月）～1月10日（日）
- ② 会 場：東京都美術館
- ③ 優秀作品には文部科学大臣賞他を贈る。

15. 令和9年書初不二誌上展

- ① 不二各誌およびぺんの力の3月号にて、成績ならびに特選作品を掲載する。

16. 第40回不二現代書展

- ① 会 期：令和9年3月16日（火）～3月21日（日）
- ② 会 場：大阪市立美術館
- ③ 優秀作品には新和様・漢字造型書作家協会賞、文部科学大臣賞他を贈る。

17. 文部科学省認定社会通信教育

- ① 「書道基礎科講座」、「書道専攻科講座」、「ペン習字教育講座」
「ペン習字基礎講座」、「篆刻入門講座」の5講座を継続実施する。
- ② 別に併設講座として「速習ペン字講座」「写経入門講座」を継続実施する。
- ③ 書道・ペン既存講座の教材の改訂を順次行う。通信教育講座の受講料は、教材改訂後順次見直しを行う。

18. 伊豆川奈東洋文化不二研修所

- ① 継続運営する。資料館に於いて書道名蹟を展示し、書道大研修室、視聴覚室、写経道場、坐禅道場、茶室等の場を供し、恵まれた環境の中で書道研修を行い、心身共に調和した学書者を養成する。引き続き、書道名蹟、文房四宝、蔵書の整理も行う。

19. 後援・講習会

- ① 書学院に於いて写経実践会・書塾指導者講習会などの講座を実施する。
- ② 全国不二教場・教室主催の書道展・講習会に後援協力する。

20. 書道教育推進事業

- ① 平成 18 年度より内閣総理大臣の認定を受け、「書道教育特区」として実施されていた「書道」授業を引き続き実施し、伊東市内の全小学校 7 校で、日本書道藝術専門学校の主導のもと、本会の書道師範免許取得者の派遣を継続し、全国各地に「書道」授業導入の支援を行う。

21. インターネットの活用

- ① 会員の利便性を高めるため、段級検索機能や納経巻数検索機能の他、会員からの声や活字課題、優秀作品、展覧会案内、受賞作品の掲載など、より多くの情報を提供していく。
- ② 各展覧会の会場の様子および展示作品を WEB 展としてホームページにおいて紹介する。

22. 書画・書籍の修復・維持

- ① 長期的な視点に立って、石橋犀水の作品の整理、作品の状態の把握、作品の保管環境の改善を図り、また、不二研修所内の作品、書籍の整理及び保管を行う。

以上